

1 日時

令和4年10月12日（水）午後1時から午後1時50分まで

2 開催場所

柏市役所本庁舎3階 庁議室

3 出席者

(1) 選定委員会委員

加藤副市長（委員長）、小島企画部長（副委員長）、飯田総務部長、中山財政部長、吉田保健福祉部理事、宮本高齢者支援課長

【専門委員】渡部昭氏（社会福祉法人千葉県厚生事業団理事長）、山本敏子氏（社会福祉法人柏北部地域包括支援センター長）

(2) 財務分析報告者

飯田公認会計士（財務状況の分析結果報告後に退席）

(3) 高齢者支援課（施設所管部署，事務局）

中村主幹，柿崎副主幹

4 配付資料

(1) 募集概要及び要求水準

(2) 応募資格審査報告

(3) 財務状況の分析結果報告

(4) 応募内容比較表

(5) 収支計画表

(6) 指定管理者候補者の選定審査評価表

(7) 評価における意見

(8) 候補者選定の考え方

5 議事概要

（※以下，加藤副市長が委員長として議事を進行）

(1) はじめに

ア 委員長から開会の挨拶

イ 専門委員紹介及び飯田公認会計士紹介

(2) 選定委員会の位置付けと目的について(事務局から説明)

ア 選定委員会の目的

イ 書類審査

ウ 評価方法

(3) 書類審査について

ア 資格審査（事務局から説明）

【主な内容】

- ・ 応募団体は2団体（以下，「応募団体」という。）であった。
- ・ 申請者の資格及び要件について審査した結果，応募団体がすべての応募資格を満たしていると判断した。

イ 財務状況分析結果（公認会計士及び事務局から説明）

【主な内容】

- ・応募団体の財務状況を分析した結果について、公認会計士が説明を行った。
- ・社会福祉法人柏市社会福祉協議会とAでは事業形態が異なるため、単純な比較は出来ず難解だった。
- ・法人の種類が異なるため、一概に点数だけでは単純評価はできない。
- ・財務状況はAが良好、社会福祉法人も問題はない。

【主な質疑応答】

渡部委員 法人が異なるので、同じ視点での単純な比較は難しいということか。
公認会計士 大手と中小企業を比較しているようなものである。財務状況だけを見て判断すれば、大手になるが本来そうではない。サービス面を比較すれば中小企業にも分はある。ただし、倒産の危機もある。ではどのように考えるかということである。

ウ 提案内容の審査（事務局から説明）

【主な内容】

- ・選定審査評価表の審査項目ごとに、応募団体の提案書の提案について評価を行った。

【主な意見及び質疑応答】

小島委員 資料4は両者、ほぼ同量の資料だが、応募書類の事業計画書を見ると個人的な見解だが、Aの方が圧倒的に量が多い。これは、事業計画書を元に作られているのか。

事務局 Aの冒頭の団体に関する事は、当該法人のホームページを素材にしたものがあるが、基本的には事業計画書に沿って作成したものである。

飯田委員 施設課題の確認だが、主に多世代交流を重要視しているか等を重視して面談等で確認し採点すればよいか。

事務局 そのとおりでよいと存じます。

(4) 書類審査結果について

【決定事項】

応募団体について面接審査を実施する。

(5) 面接審査の実施について（事務局から説明）

【主な内容】

- ・面接時間は50分（入退室時間を除く）とし、うち、20分をプレゼンテーション、30分を質疑応答の時間とする。